

第9期第4回 新潟市中地区公民館運営審議会 議事概要

日 時： 令和7年1月30日（木） 午前10時～午前11時30分
場 所： 新潟市中地区公民館 4階講座室
出席者： 新潟市中地区公民館運営審議会
石井委員、遠藤委員、海津委員、佐藤委員、永井委員、野本委員、
坂内委員、古川委員、良知委員
事務局： 中地区公民館（青柳、池田、吉田）
石山地区公民館（山田）

1 開会

館長あいさつ

- ・中地区公民館5階ホールなどで確認されたアスベスト含有建材（ひる石）のその後の進捗状況について
 - ・令和7年度中地区公民館の空調設備改修工事等に伴う休館について
- 議長挨拶

2 議事

(1) 令和7年度事業に関する委員提案について

- ・各委員から提案の説明（各委員）
- ・事務局から説明（中地区公民館長）

(質疑・意見)

なし

(2) 令和7年度事業計画について

- ・中地区公民館分（事務局）
- ・石山地区公民館分（事務局）

(質疑・意見)

(委員) 資料2-2の番号20「石山地区野球大会」は、どのようなチームが参加しているのか。今後の部活動からの移行されたチームも参加できるのか。

(事務局) 大人だけのチームや、大人と子どもの混在チームなど様々である。今後、部活動からの移行団体などのチームが参加することも検討していると事務局から聞いている。

3 その他事項

(事務局) 下記のことについて説明（中地区公民館長）

- ・公民館運営審議会の統一について
- ・「公の施設に係る受益者負担の設定基準」公民館の使用料の見直しについて

(質疑・意見)

(委員) 運営審議会を統一するという動きはよくわかった。これまでの各区の運営審議会の企画、実行を検証する機能はとても大事なこと。検証は次の実行に生きるので、今後の活動協力員会議でも、そこが後退しないようにしてほしい。

(委員) 病院や医院の予約さえも、二次元コードで行わなければいけないところが増えているので、特に高齢者へのデジタルデバイトの解消は必要だし大切。

その反面、日本では、詐欺事案の8割程度がSNSによるもののようなので、そうした安心安全の意識啓発も必要であると思う。

(委員) 公民館と学校の連携は大切であり、学校の行事計画の策定期間も考えると、早目の動き出しが必要だと思う。

(委員) 公民館と学校の連携についてだが、学校の行事計画に入っていくのはスケジュール的になかなか難しく、その調整が課題だと思う。

図書館が実施している「読み聞かせボランティア養成講座」はニーズがあるので、図書館、公民館、学校の連携も良いのではないかと思う。

(委員) 公民館との連携は、教職員にとって多様な視点を取り入れるきっかけにもなっており、とても感謝している。

学校現場においては、前年度踏襲からの脱却、スクラップアンドビルドが必要であると思っている。

今回、新年度事業計画の説明があったが、前年度との比較があれば、より分かりやすかったと思う。

公民館と学校の行事計画との連携の話があったが、時期は関係なくいつでも学校に声をかけてほしいと思う。ただ、例えば今、この時期にご相談いただいてもなかなか難しい。その辺が課題とも言える。

(委員) 公民館で直接会って交流をすることがもちろん一番良いのであるが、デジタル化をさらに進め、離れたところからでも手軽に気軽に参加できる環境づくりなど、時代に合ったスタイルでの開催を検討してほしい。

(委員) 公民館との連携は、教職員にとって、その関係性を勉強する良い機会となっている。教育現場では開かれた教育改革を進めており、地域の方を入れながら学校の行事計画等にも公民館に関わっていただきたいと思う。

市が進めている「学・社・民の融合」はとても良い取り組みであり、今後もその方向性で進んでほしいと思っている。

(委員) 私が行っている人権擁護委員の活動は、主な活動の予算は市の助成金であり、予算編成の関係で、次年度の希望を聞かれる時期がとても早く、どうしても前例踏襲になってしまう。いい企画を考えても実施まで約2年かかり、なかなかむずかしい。

来年度は自治会・町内会長、そして民生委員の改選だが引き受けてくれる人がいなくて困っている。70歳を過ぎても働いている人が

多くて、日中地震が起きたときなど、地域には昼間動ける人が少なく大きな課題と言える。また、社会全体が余裕がなくなっていると感じている。

公民館活動は、生活に豊かさをもたらすと思うが、いかんせん知らない人が結構多いので、SNSでの発信が大切になってくる。

(委員) 公民館活動のPR不足は感じているので、もっと発信をしてほしい。

東区は、他地域に比べて詐欺被害が多いと聞いているので、気をつけるよう意識啓発をした方がよい。

(事務局) 公民館の発信力が問われていると感じており、オンライン講座をはじめどのように発信していくかが課題である。他の会議で、新潟市や区役所のホームページは見たことはあるが、公民館のホームページは検索したことがないと言われた。まずは、多くの人に公民館はどんなところかを知ってもらうことが大切で、委員の皆さんからも、お知り合いの方に公民館の活動を話してほしいし、今後も公民館の応援団として関わっていただきたい。

また、新・新潟市の教育ビジョン(案)の基本施策の中で、「地域、学校、民間企業、家庭の連携・協働の推進」に「一層推進する」と記載され、取り組みを強化していくこととしている。

市民の皆さんへのPR方法として、オンライン講座も含め、どのようにすれば多くの方々に参加していただけるか、情報を届けたい人へ届けるには、また、講座の内容によって対面がいいのかオンラインがいいのかなどの効果も含めて検討して、取り組んでいきたいと考えている。

4 閉会

(配布資料)

1. 第9期第4回中地区公民館運営審議会 会議次第
2. 令和7年度事業に関する委員提案 (資料1)
3. 令和7年度事業計画 中地区公民館 (資料2-1)
令和7年度事業計画 石山地区公民館 (資料2-2)